

5月号

# 山田交流センターだより

山田地区人口 1,233 (1,276)人 世帯数 468 (476)世帯  
・( )書きは前年同期の数字です。

第1号

令和2年5月1日発行

山田地域づくり協議会

メールアドレス

yamada.kmn@gmail.com

## 祝「山田地域づくり協議会」発足

山田地区住民の皆さま、本年2月に日本での感染が確認された新型コロナウイルスは、以来東京、神奈川、大阪などの大都市を中心に猛威を振るい、多くの感染者の発生が拡大し、終息の兆しも見えないところです。

当山田地域におきましては、山田地区自治振興会解散総会及び山田地域づくり協議会設立総会の開催を模索していましたが、新型コロナウイルス感染が県内で急拡大し、市内近隣でも感染が発生している状況に鑑み、感染拡大防止の観点から両総会の実開催を取り止め、書面による決議とさせていただきます。

皆様のご了解をいただき、総会資料と書面議決書を郵送にて評決者あて発送したところ、短期間の書面議決要請のお願いにも関わらず、各位のご協力をいただき、解散及び設立の両総会とも成立し、審議の対象となりました全議案に対しても全数(解散67名、設立97名)の賛成評決をいただきました。以上により、令和2年4月15日をもって「山田地域づくり協議会」が設立されました。



### 山田地域づくり協議会発足に寄せて

山田地域づくり協議会  
会長 水口幹夫

この度、山田地域づくり協議会が設立され、初代の会長を拝命いたしました。大役に身の引き締まる思いですが、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

人口減少・少子高齢化が今後一層進む状況下で、持続可能な地域の振興と発展を図る為の新たな地域づくりが必要になっております。これを実現するため、南砺市が進める小規模多機能自治の手法を導入することとし、その為の制度作りを目指して、約1年前から有識者や各団体の代表による検討委員会、準備委員会で検討を進めて参りました。今般、最終的な成案を得、設立総会での承認を経て、ここに山田地域づくり協議会が正式に発足したことは誠に意義深く、皆様と共に喜びとお祝いを申し上げます。

本協議会は、従来の自治振興会、地区社会福祉協議会、公民館を統合し、住民自治組織の簡素化・効率化を図るものでありますが、更に今後必要に応じて、地区内の諸団体を集約・包括していくことも視野に入れながら、発展させていきたいと考えております。

組織の運営としては、分野別の部会を設け、夫々の分野で課題解決に向けて活動していくこととなりますが、他の諸団体との連携・協力を緊密に保ちながら、オール山田として一丸となって目標を達成していきたいと考えております。

役員には、それぞれの分野の有識者・経験者を中心として、多くの女性や若い方々にも加わって頂きました。多様な考え方や意見を反映しながら、活発な活動を展開していきたいと考えております。

住民自治の原点は、まず住民同士のコミュニケーションを良くすることであり、活動には出来るだけ多くの住民が参加できるようにすることです。役員はもとより山田地区住民全体で、楽しく魅力ある地域づくりを進めていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 山田地域づくり協議会の設立について

## 1) 趣 旨

山田地区が、当面する課題を解決しながら今後持続可能な地域の振興と発展を図るため、従来の住民自治組織を改編し、新たに「山田地域づくり協議会」を設立する。

## 2) 背 景

- ① 南砺市が、少子高齢化・人口減少対策として小規模多機能自治の手法による住民自治強化の方針を打ち出し、2019年4月から市内各地区で順次導入されている。
- ② 山田地区も今後一段と少子高齢化・人口減少が進み、このままでは、現在の地区自治振興会、地区社協、公民館を中心とした縦割り組織による事業や活動を維持して行くことは困難となる。
- ③ これに対応するため、地区内の組織を可能な限り集約・簡素化し、役員数の削減、事業・活動内容の適正化及び予算の重点配分等を進め、山田地区の維持発展を図る。

## 3) 山田地区がめざす地域づくり

### ① 基本目標

山田地区住民相互の交流と親睦、及び地域の振興と発展を図り、住民が強い絆で結ばれ、楽しく心豊かに暮らせる地域をめざす。

### ② 個別目標

- ・農業及び地域資源を生かした、産業を維持・振興する、活力ある地域
- ・共に支えあう、福祉体制を充実した、健やかな安らぎのある地域
- ・生涯学習やスポーツ・文化活動を通じて、心豊かに楽しく暮らせる地域
- ・自然環境の保全と、防災体制を充実した、安全で安心な地域
- ・教育環境の整備と、子育て支援を充実した、子供たちが将来に羽ばたける地域

# 令和2年度 事業計画

日 付	項 目
令和2年	運営委員会は随時開催(4回以上) 自治会連絡会は適時開催
5月	地域連絡会・行事等連絡調整会議
7月 26日 (日)	自主防災訓練
8月 7日 (金)	山田地区平和祈念祭
8月 8日 (土)	山田地区納涼盆踊り
10月 4日 (日)	第76回山田地区レクリエーション大会
11月 3日 (火・休)	第38回山田地区文化まつり
12月	地域連絡会
3年 3月	運営委員会(令和2年度総括、令和3年度計画)
4月	第2回(令和3年度)通常総会

## <部会の取組事業> 主要なもの 実施時期は各部会の審議による

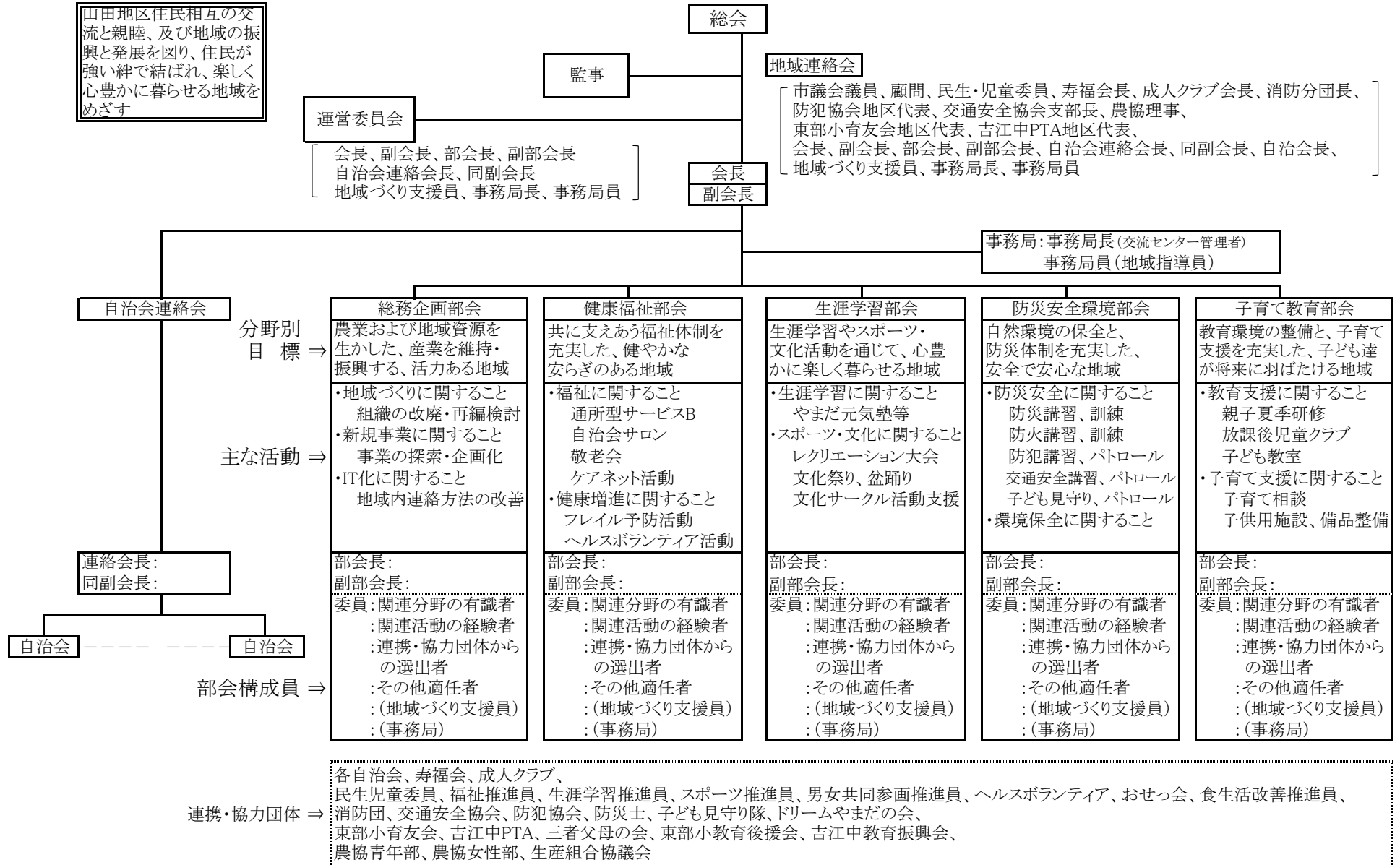
- ◎総務企画部会 協議会HP改修、写真コンテスト、家庭菜園、城端線等乗車PJ、地域食堂
- ◎健康福祉部会 ケアネット活動、敬老会、フレイル予防、自治会サロン、通所型サービスB
- ◎生涯学習部会 納涼盆踊り、レクリエーション大会、文化まつり、やまだ元気塾、親子体験教室
- ◎防災安全環境部会 自主防災訓練、南砺市消防操法大会、防火防犯機器の整備  
防犯パトロール、交通安全街頭指導、芝桜街道維持保全
- ◎子育て教育部会 夏季研修、こども教室、親子クリスマス会

# 山田地域づくり協議会組織図

令和2年4月15日(会則施行日)現在

地域づくり目標

山田地区住民相互の交流と親睦、及び地域の振興と発展を図り、住民が強い絆で結ばれ、楽しく心豊かに暮らせる地域をめざす



- 備考 (1) 今回の組織変更は、地区自治振興会、地区社会福祉協議会、公民館の統合が主であり、その他の諸団体については今後新組織への集約を検討していく。  
 (2) 主な活動欄には当面の項目を記載しているが、部会内で今後検討して活動計画を作成していく。活動の実行に当たっては、従来とおり自治会、各種団体と連携・協力していく。  
 (3) 事務局は、本会全体の庶務、会計、施設管理、広報活動等を行う

### 地域づくり協議会役員

### 地域連絡会

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	水口 幹夫	総務企画部会 部会長	長澤 孝司	自治会連絡会 連絡会長	春日 芳博	市議会議員	榎 祐人
副会長	春日 芳博	総務企画部会 副部会長	竹田 絹子	自治会連絡会 副連絡会長	江田 博史	市議会議員	竹田 秀人
事務局	事務局長	総務企画部会 委員	荒井 大介	山田新 自治会長	柏川 一男	地域づくり協議会顧問	北島 繁男
	事務局員	総務企画部会 委員	坂井 晋	赤坂 自治会長	北島 健一	地域づくり協議会顧問	西井 満年
	事務局員	総務企画部会 委員	細木 誠	出村 自治会長	西井 正樹	民生・児童委員	竹田 保幸
地域づくり支援員	岩佐 崇	総務企画部会 委員	谷内田 小由里	縄蔵 自治会長	岩佐 恒	民生・児童委員	長澤 孝司
地域づくり支援員	岩本 真佐美	健康福祉部会 部会長	竹田 保幸	天池 自治会長	高田 慎一	民生・児童委員	岩本 潤司
地域づくり支援員	西井 有年	健康福祉部会 副部会長	井幡 秋美	吉江野 自治会長	宮島 敬生	寿福会長	林 清
網掛けは運営委員会構成員を示す		健康福祉部会 副部会長	伊東 雅代	竹林 区長	江田 博史	成人クラブ会長	竹治 弘明
		健康福祉部会 委員	荒木 千加子	西島 自治会長	山畑 章	消防分団長	竹田 甚悦
		健康福祉部会 委員	長澤 みち代	中筋 自治会長	荒井 大介	防犯協会地区代表	北島 忠治郎
		健康福祉部会 委員	林 裕一	東島 自治会長	林 茂	交通安全協会地区支部長	伊東 友紀雄
		健康福祉部会 委員	山田 恭一	北島 自治会長	竹本 六男	農協理事	北島 茂
		健康福祉部会 委員	山道 淳一	団子林 自治会長	水口 明	農協理事	長澤 文夫
		健康福祉部会 委員	吉田 三保江	大塚 自治会長	山田 恭一	東部小育友会地区代表	荒井 勝幸
		生涯学習部会 部会長	岩村 晃	大塚柳堀 自治会長	桐木 行光	吉江中PTA地区代表	荒山 真粧美
		生涯学習部会 副部会長	野島 峰彦	梅野 自治会長	岩本 一宏	地域づくり協議会運営委員会	構成員
		生涯学習部会 副部会長	細木 淑美	旭ヶ丘 自治会長	春日 芳博	自治会連絡会	構成員
		生涯学習部会 委員	池田 義治		柏川 一男		
		生涯学習部会 委員	岩本 隆三		竹本 六男		
		生涯学習部会 委員	片山 清悦				
		生涯学習部会 委員	北島 淳子				
		生涯学習部会 委員	坂井 敏之				
	生涯学習部会 委員	竹田 一美					
	生涯学習部会 委員	山村 ゆかり					
	防災安全環境部会 部会長	藤井 正春					
	防災安全環境部会 副部会長	荒木 悦夫					
	防災安全環境部会 委員	伊東 友紀雄					
	防災安全環境部会 委員	北島 忠治郎					
	防災安全環境部会 委員	竹田 甚悦					
	防災安全環境部会 委員	西井 隆生					
	防災安全環境部会 委員	松井 謙二					
	防災安全環境部会 委員	吉田 世志子					
	子育て教育部会 部会長	竹田 陽一					
	子育て教育部会 副部会長	中村 美希					
	子育て教育部会 委員	荒井 勝幸					
	子育て教育部会 委員	岩佐 恒					
	子育て教育部会 委員	岩本 潤司					
	子育て教育部会 委員	中澤 誠					
	子育て教育部会 委員	町永 いずみ					

自治会名	氏名	自治会名	氏名
山田新	山村 武志 山村 慎一 山村 国夫	中筋	中島 昭 中村 雅子
赤坂	伊東 誠司	東島	林 博 片山 清悦
出村	谷山 秀久 西井 有年	北島	江田 剛 竹本 鉄也
縄蔵	長澤小夜子 高田 英輝 宮川 玉枝	団子林	江田 勇作 野島 峰彦 大谷 兼正
天池	武部 利孝 松本 秀利	大塚	細木 実 吉田 則夫
吉江野	森田 温 中澤 誠 竹山 斉	大塚柳堀	細木 朗 成瀬 春夫
西島	松崎 義成 西村 彰 荒井 貴範	梅野	岩本 隆三 鍛冶本 勝
		旭ヶ丘	松崎 光雄 大谷 智治 斉田 治樹

## 第1回生涯学習推進委員会及び

## 交流センター周辺美化活動実施

4月5日(日)、令和2年度の生涯学習部会委員及び推進委員の皆さんにより、交流センター周辺、グラウンドの清掃及び、ブランコ等遊具の設置を行いました。その後、推進委員会を実施して、今年度の役員と行事計画をかしました。

### ◎事業計画(主な事業)

・納涼盆踊り	8/8(土)	・夏休み・冬の子ども教室	年7回程度
・レクリエーション大会	10/4(日)	・やまだ元気塾	年3回程度
・親子で芋ほり体験事業	9月～10月	・交流センターだより発行	毎月1回
・文化まつり	11/3(火・祝日)	・山田行事カレンダー発行	5月下旬

### ◎推進委員会 役員

委員長	岩本 隆三さん(梅野)
副委員長	谷山 一成さん(出村)
副委員長	山村 ゆかりさん(山田新)



## 山田成人クラブが道路愛護ボランティア立て看板移設

山田成人クラブ会長 竹治弘明

平成16年、成人クラブの事業として、道路愛護ボランティア活動を開始しました。当時は、成人クラブの役員のみで、3つのルートを毎月、輪番制で清掃を行っておりましたが、平成21年に自治振興会と協働し、活動範囲を山田地区全体に広げました。活動の主体が各自治会に移り、現在に至っておりますが、最近では、成人クラブ役員の関与が、希薄になっておりました。

令和2年3月末の同活動からの撤退に伴い、行政機関が設置した立て看板2基は、「ドリームやまだの会」様に引き継いで頂く事になり、我々で立て看板の移設を行いました。

国道304号線福光IC交差点で、高速道路を降りた方や城端方面から来た方が、一旦停止中に目に付く場所に設置を行い、既に設置してある吉江野地内の立て看板と合わせ、芝桜植え付け区間「芝桜街道」のPRの一助になれば幸いです。

なお、立て看板の流用を了承して頂きました砺波土木センター様、譲渡を快諾頂きました「ドリームやまだの会」会長、松井謙二様に感謝を申し上げます。

最後に、去る3月28日、第39期定期総会において、来る令和3年3月7日(予定)の第40期定期総会を節目に解散することが議決されました。残りの一年間、宜しくお願い申し上げます。